



印刷品質管理ソリューション

FFGS QC Navi



「印刷品質」に関する課題を共に解決し、 生産効率の最大化を目指す トータルソリューション。

さまざまなジョブをつねに最適なコスト・時間で生産するには、

工程全体の品質の統一と安定化が必要です。

すなわち、「オフセット印刷・デジタル印刷の印刷品質が統一され、安定した状態」です。

この理想的な生産環境の実現に向け、富士フイルムは、

長年にわたる印刷診断活動で得たデータや、独自の知見・ノウハウを活かし、

お客様の生産設備に合わせた課題解決から、印刷品質の維持管理まで、

ワンストップでサポートいたします。

印刷品質管理ソリューション

FFGS QC Navi



印刷品質がととのうことによるメリット

- ジョブ振り分けの自由度が高まり、工場全体の収益が向上。
- 複数の拠点間の品質を均一化し、輸送コストの軽減に。
- 刷り出しにかかる時間・損紙・作業負荷を削減。
- 刷り直しを削減し、工数削減。
- 印刷品質の定量化により経験の浅いオペレータでもオフセットの印刷管理が可能になり、教育費などを軽減。
- クライアントの品質要求にも一定の品質を容易に維持でき、データによる管理対応も可能に。
- 収益性と効率を重視したデバイスの選択および組み合わせが可能。

QCサポートの流れ

STEP 0

要望整理
0.5日

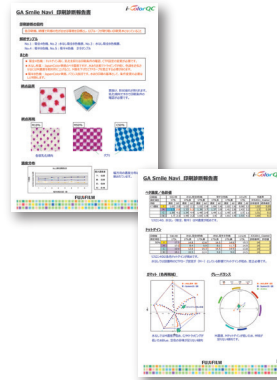


STEP 1

オフセット印刷現状把握

印刷診断
～3週間

課題共有
0.5日



STEP 4

周辺デバイスとの印刷再現の統一

デバイス調整
各1日



オフセット印刷での
色基準の策定



オフセット印刷機間の
色味・濃度の統一



デジタルデバイスへ展開



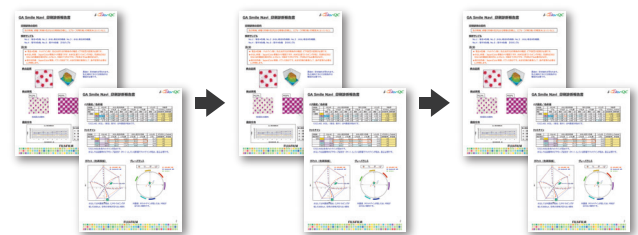
STEP 5

品質維持

定期診断
年1回以上



経時的な品質変動を
把握することで印刷品質の
適切な管理が行なえます。



課題の見える化から、印刷品質の統一に向けた基準づくり、品質の維持管理まで、長期的視点で一貫したサポートをご提供します。

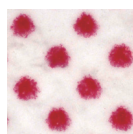
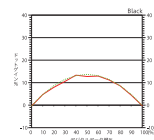
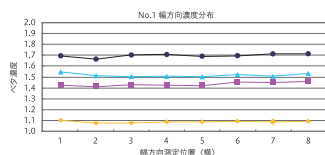
STEP 2

オフセット印刷安定化

改善活動
～4週間



効果確認・診断
～3週間



STEP 3

色基準策定

印刷条件設定
1日



ベタ濃度最適化

カーブ設定

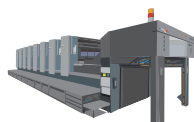


色基準印刷物作成

富士フィルムのサポートは、ここが違う!

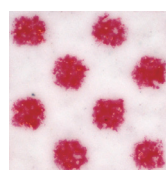
●オフセット印刷・デジタル印刷を含めたトータルサポート

長年にわたり全国のお客さまの印刷物の診断を行ってきた実績と、色に関する高度な知見を活かし、オフセット印刷・デジタル印刷を含めたトータルな印刷品質管理サポートを提供します。

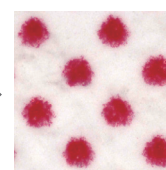
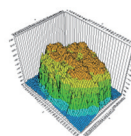


●網点形状に着目した高精度な印刷診断

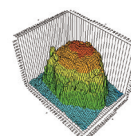
印刷診断では、色の数値化だけでなく印刷品質にも着目し、どんな課題・リスクがあるのかを明確化。その上で、色の安定化のための改善提案を行います。



Before



After



定期診断サービス

品質維持のために、 定期的なチェックを！

印刷機やプルーファの色は、どんなに安定性の高いデバイスであっても、時間の経過とともに、微妙に変化してしまいます。定期的に印刷品質の変動をチェックし、適切な処置を行なうことで、つねに印刷品質の一貫性を保つことができ、クライアントへの確かな品質保証が可能になります。



定期診断のメニュー・内容

対象デバイスの測定結果の報告

診断対象のデバイスの出力物をご提供いただき、網点形状やベタ濃度、ドットゲインなどを分析。その結果をレポートにわかりやすくまとめ、オンラインでご報告します。



要改善点の説明と対策の提案

診断の結果、色品質の変動が見られた場合には、考えられる要因や、最も効果的な対策をご提案し、品質の安定維持をサポートします。



お客さまの声



A社様 校了の色を本刷りで忠実に再現できるようになり、クレームが激減!

BEFORE

品質管理を部門ごとに行っていたため、色校正（インクジェットプルーフ、平台校正）と印刷機のアウトプットにズレが生じていた。品質にシビアな仕事が多く、修正のやり取りに多大な時間と労力を費やしていたほか、校了となった色を本刷りで忠実に再現できずに、納品後にクレームになるケースもあった。

AFTER

印刷機の色をJapan Color基準で安定させ、プルーフ・平台校正機の色をマッチング。これにより、印刷オペレーターは校正紙を「信頼できるターゲット」にすることができ、より効率的・高精度に色を合わせ込めるようになった。色の修正のやり取りが減少し、クレームも激減。品質に対するクライアントからの評価が高まった。



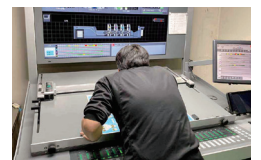
B社様 刷り出しが早くなり、損紙が大幅に減少。時間の有効活用が可能に!

BEFORE

プルーフや本機校正と本刷りの色がなかなか合わず、本刷りの段階でオペレーターが力技で合わせ込むというケースが多かったため、刷り出しに時間がかかり、オペレーターの負荷も大きく、損紙もなかなか減らせなかった。

AFTER

オフセットの基準を見直し、オペレーターが出しやすい濃度に再設定したことで、刷り出しが格段に早くなり、損紙の量が3~4割も減少。また、これまで印刷オペレーターが“色を見る”作業に費やしてきた時間を、色以外の品質のチェックにも充てられるようになり、事故防止・生産効率アップにつながっている。



C社様 数値管理により作業の標準化が図れ、若い人材が育ちやすい環境に!

BEFORE

印刷オペレーターの高齢化が進む一方、若い人材を募集してもなかなか育成が進まない状況が続いていた。印刷現場の作業を標準化することで、ベテランオペレーターがいつでも世代交代できる環境を整えることが喫緊の課題だった。

AFTER

Japan Colorを基準とした数値管理の仕組みを構築することで、これまでオペレーターの技能に依存していた作業の標準化を図った。「決まった手順を踏めば一定の品質の印刷物が生産できる」という、若いオペレーターが育ちやすい環境になり、人材育成の時間短縮というメリットにもつながっている。



FUJIFILM

●本製品についてのお問い合わせは

販売代理店 **富士フィルムグラフィックソリューションズ株式会社**

本社 〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番地30号 富士フィルム西麻布ビル

TEL. 03 (6419) 0300

ホームページ <http://www.fujifilm.com/figs/ja>